第２３号　　令和２年１０月２３日

天沼小だより

文責
校長　大里　忠弘

思い出のバス旅行－6年生

当初予定していた鎌倉方面への修学旅行が、新型コロナウイルス感染症対策のために中止になってしまいました。６年生の子どもたちにとっては、最も楽しみにしている学校行事です。どうにかならないものかと、各方面関係者との情報交換、検討を重ねた結果、宿泊をしない日帰りでのバス旅行という形でのお出かけ企画が実現しました。

行き先は、那須ハイランドパーク。生憎の小雨交じりの一日でしたが、人気の絶叫マシーンからは子どもたちの歓声が響いていました。激しい乗り物には乗れないという子もおり、グループで乗り物の順序を工夫するなど、仲間同士を気遣う場面が随所に見られました。

午後の目的地、お菓子の城では、可憐な押し花を使ってきれいなオリジナルコースターを手作り。思い出の一品になりました。

お土産ショップでは、美味しそうなお菓子がずらりと並んだ店内を、かごを片手に一巡り。Go To トラベルでもらった地域共通クーポンを有効に使って、家族へのお土産を買いました。

集合時刻を守り、仲間同士よく協力し、バス酔いもけが人もなく、大変気持ちの良い一日になりました。

命の学び－5年生 群馬県助産師会出前講座

10 月 16 日(金)５年生の PTA 学年行事、「命を育む講座」が行われました。群馬県助産師会から２名の講師を招き、親子で命の大切さについて学びました。

私たちの命の始まりである受精卵の大きさ（というより小ささ？）を知り、受精や胎児の成長過程に見られる神秘について学びました。

自分の命は、世界にたった一つ。両親の元に生まれてきたことのありがたさ。生きているだけで 100 点満点。自分を大切にすることと、他人を大切にすることの意味。など、じっくりと考えました。お母さんのお腹の中を思い出すために、タイムマシーンにも乗り込みました。教室では、本物そっくりの赤ちゃん人形を抱き、両腕にずっしりと命の重さを感じるひとときでした。